

香川県森連時報

平成16年1月1日発行(年2回)



新年のご挨拶

香川県森林組合連合会
代表理事会長 真部 善美



新年あけましておめでとございます。皆様には、ご健勝で輝かしい平成十六年の新春をお迎えになられたことをお慶び申し上げます。

平素は、我々森林組合系統の事業運営にあたり、県並びに関係機関、関係団体の皆様方のご指導、ご支援に対し厚く御礼申し上げます。

昨年は第四十三回衆院選で自民、民主の二大政党化が進む等、政局に大きな動きがありました。

一方、わが国の経済は物価下落(デフレ)が続いており、景気は依然として停滞しております。

我々森林・林業界でも、木材価格の低迷、林業従事者の減少・高齢化や間伐の遅れなど大変厳しい状況に変化は無く、林家の林業経営意欲は減退し、地域の林業は一層厳しい状況におかれています。

一方で、森林・林業に対する国民の期待は、木材の供給はもとより、水資源の涵養、国土の保全、地球温暖化防止京都会議の議定書に基づく二酸化炭素の吸収など多様であり、そのひとつひとつに適切に対応していくことが、林業・木材産業関係者に求められております。

本県におきましても、系統で運動を推進している「香川県森林組合改革プラン」を昨年の第五十三回通常総会で決議し、県下一組合に向けて検討を重ねております。

森林組合は森林所有者の代表として、厳しい現実との戦いに気持ちを新たに、より一層の連携を持ち、協力体制の強化・努力が必要であります。

本年も、森林・林業を取り巻く環境は、まだまだ厳しい状況におかれると思いますが、相変わらぬご指導、ご協力をお願いいたしますとともに、皆様のますますのご健勝をお祈りして、年頭のご挨拶といたします。

県森連第五十三回通常総会開催

平成15年5月30日、当連合会館2階会議室において、真鍋知事(代理出席 多田環境森林部長)、県議会議長代理出席 石川経済常任委員長)をはじめ多くの来賓の方々のご臨席のもと第五十三回通常総会が開催された。

冒頭、石原会長は、厳しい林業情勢が長期に続く中、森林組合は系統を挙げての変革の時期がきている。「二十一世紀ビジョン」の系統運動に続き、昨年の全国大会で決議された「森林組合改革プラン」に基づく「香川県森林組合改革プラン」の策定により、組織・事業の改革を強力に推進していかねばならない。特に森林面積が狭小な我が県では、平成17年度以降に「県組合」を目指し、さらなる経営基盤の強化、健全な自立的経営化を図る。会員の方々の絶大なご理解とご協力を願い、本日の議案審議の協力を依頼された。

続いて、ご来賓の方々からのご祝辞をいただき、その後、優良組員6名の表彰を行った。

議事については、議長に森下内海町森林組合長が選出され、提出十議案すべて可決承認された。

また、今年度は役員任期満了に伴う選挙もあり、選挙管理者に藤嶋塩江町森林組合長が選出され、滞りなく行われた。

優良組員表彰者

- 前山 雅雄 (香川東部森林組合)
- 大住 辨司 (香川東部森林組合)
- 多田 正秀 (香川東部森林組合)
- 池田 松夫 (香川東部森林組合)
- 真部 俊郎 (香川東部森林組合)
- 宮本 正良 (香川西部森林組合)

「香川県森林組合改革プラン」採択!

新役員体制決まる

(任期7月14日から3年)

先の第五十三回通常総会において、「香川県森林組合改革プラン」が採択されました。

新役員(敬称略)

代表理事 真部 善美
副会長理事 毛利 忠幸
専務理事 篠畑 嘉信
理事 石原 恵
黒川 敬一
佐藤 敬一
常包 一明
代表 森下 虎之
監事 田岡 昭一

退任役員(敬称略)
前副会長理事 椎木 謙一
前理事 堀口 忠雄
黒川 正俊
前 監事 美穂 巖

林業雇用改善アドバイザー 中・四国ブロック別連絡会議開催

平成15年10月9日、10日、ホテルザイ連絡会議が開催された。

ニューフロンティアにおいて、厚生労働省中原課長補佐、宮本係長をはじめ、林野庁斎藤課長補佐、中熊対策官、林退共安井本部長らから林業労働省中労局長補佐、宮本係長らから林業労働局伊達部長など多数の来賓のご臨席をいただき、席をいただき、9県のアドバイ



アドバイザーによる雇用促進など活動報告等を行い、問題点について討議を交わした。



▲中・四国9県アドバイザー連絡会議の様子



県産間伐材を国道11号の乱横断防止柵へ

国土保全・森林整備の観点また、香川県新世紀基本構想(みどり・うるおい・にぎわいの創造)による循環形社会の構築などをふまへ本年度国土交通省(香川河川国道事務所)において、一般国道11号高松東道路(上天神町から勅使間)総延長1.7kmへ香川県産間伐材約110mを乱横断防止柵として使用が決定した、連合会では県下森林組合の支援を得て間伐材の搬出を計画 중이다。

本島、山火事の復旧について



丸亀市沖8kmに浮かぶ瀬戸内海塩飽諸島の中心となる本島は、周囲16.4km面積675haの天然の松と広葉樹を主とした山林である。
平成14年8月20日午後、島の中心部



と南西部の2カ所から出火。地理的不便から懸命の消火活動にもかかわらず、鎮火に2週間もの日数を要し、島の4分の1にあたる160haの山林を消失した。

山火事跡の復旧については、県の治山事業で5年間にわたって植栽を中心とした復旧を実施する予定で今年度は新規作業班員6名を採用し10名体制で生ノ浜三所社に合宿し施行面積8.17ha内訳・作業歩道500m筋工4800mクロマツ・コナラ・ヤマモモ(丸亀市の木)各2万500本の植栽。平成16年3月19日竣工をめざし、木灰の立ち込める中、急斜面転石の中で奮闘している。

生ノ浜地区が県より10月に発注され丸亀市産業課、本島支所森中所长、生の浜自治会橋会長、小阪自治会織部会長等のお世話をいただき、



林業コンサルタント室だより

平成15年度 治山事業実施測量設計業務(森林整備)

区分	東部地区	西部地区	計
本数調整伐	30.0ha	57.0ha	87.0ha
除 伐	42.0ha	10.0ha	52.0ha
枝 落 し	4.0ha	0.0ha	4.0ha

業務内容

保安林機能の高度発揮に係る各種施業方針を立てるため、9月より、簡易山腹面積測量及び立木調査を実施している。

《購入方法》
購入は、医師の診察を受け、処方箋の交付を受けた人が購薬剤です。

エピベンは緊急避難的に症状の緩和を目的として太ももの前外側に筋肉注射できる医療用医薬品です。

血管収縮、心拍数増加、気管支拡張等の作用によりアナフィラキシー症状を緩和する薬剤です。

エピベン入手先医療機関(香川県)

1にしわかクリニック	西川 清	善通寺市木徳町字下所1073	0877-63-6500
2三条山下内科医院	山下 和彦	高松市三条町504-1	087-867-1201
3川口医院	川口 仁	仲多度郡満濃町炭所西1528-1	0877-79-0711
4佐々木内科	佐々木 一乗	高松市福岡町4-2-1	087-821-1236
5広島診療所	森田 英幹	丸亀市広島町青木482	0877-29-2111
6造田診療所	山川 俊紀	仲多度郡琴南町造田1982	0877-85-2318
7小谷医院	堀川 知	香川県香川町安原3-162	087-879-7005

蜂刺され対策用の

自動注射器輸入承認される

蜂刺され対策用自動注射器の輸入が平成15年8月1日付で厚生労働省より承認されました。

これにより、これまで国有林の作業現場に限られていた自動注射器の使用が森林組合を含めた民有林の作業従事者の使用が可能となりました。

蜂刺され死亡災害の減少につながるものと期待されます。

《効用》

蜂毒による『アナフィラキシー』と呼ばれる急性・全身性のアレルギー反応を起こした場合、症状としては呼吸困難、血圧低下、意識障害等が発現し、直ちに適切な治療を行わないと死に至る場合があります。

エピベンは緊急避難的に症状の緩和を目的として太ももの前外側に筋肉注射できる医療用医薬品です。

血管収縮、心拍数増加、気管支拡張等の作用によりアナフィラキシー症状を緩和する薬剤です。

購入は、医師の診察を受け、処方箋の交付を受けた人が購薬剤です。

この医薬品は保険適用がされていないため、全額負担となります。(15千円前後)

商品名「EPIPEN(エピベン)」